

税が支える日々に感謝して

小松市立芦城中学校 3 年

私の家は母子家庭で、母と妹と私の 3 人で暮らしています。そのため、母の収入だけでは生活が苦しく、小松市のひとり親家庭への支援の制度を利用しています。私の住む小松市には、母子家庭や父子家庭などいわゆる「ひとり親家庭」への様々な支援が行われ、私のような家庭を支える制度があります。

私の家では、児童扶養手当として 2 人合わせて 5 万円程度の給付、学校での必要経費の一部免除など、主に経済的な支援を利用しています。これらの援助のおかげで、私は母子家庭でありながら、みんなと同じように学校に通えていて、さらに塾まで通えています。つまり、私の学習環境やみんなと同じ教育を受ける権利、生活は税金によって保障されているのです。

私は税に対し「絶対に払わなければいけないお金」というイメージ、つまり否定的なイメージを持っていました。しかし、この作文をきっかけに、私にとって税がどれほど重要な役割を果たしているのかを知ることができました。たとえ私たちが気づいていなくても、納めた税は道路建設や上下水道の整備、医療や国の防衛費などに確かに役立てられているのです。蛇口をひねればきれいな水が出て、何かあったら救急車や消防車が呼べて、災害が起こったら自衛隊がすぐに駆けつける。税は、私たちの生活の「当たり前」を支え、安全・安心を保障しています。「当たり前」だからこそ、私は税の重要性に気づかず、否定的なイメージを持ってしまっていました。しかし、税が私の生活を支えていることを知り、その大切さを改めて実感しました。

私たちが納めた税は、日本のインフラを整備し、社会保障費に使われ、国民の安全・安心な生活を守るのに役立てられています。ほかにも、他国の支援や科学技術の研究、森林の保護にも使われています。つまり、私たちは、私たち自身の「当たり前」の日常を「税」というシステムを利用して守り、税を納めることで SDGs の達成や日本の発展に貢献しているということです。税は、私たちの日常や、日本の発展を陰で支えています。私が生きている今が当たり前ではないということを忘れずに、これからもちゃんと税を納め、もっと税についての知識を深めていきたいです。納税者の一人として、税に救われた者として。